

## マキシス(MXSC)

MyDIGITAL イニシアチブによる業界への追い風的一方、同業他社の統合に対抗するため他社との統合も選択肢へ  
マレーシア | 通信事業者 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG MAXIS:MK | REUTERS MXSC.KL

- 2021/12 期 1Q (1-3 月) は、通信サービス売上高が同 0.5%減、純利益が同 6.4%減の一方で、調整後 EBITDA が同 0.5%増だった。
- プリペイドサービスの契約者数減少に歯止めがかかったほか、光ファイバー事業とワイヤレス・ブロードバンド事業が堅調に拡大。
- 政府のMyDIGITALイニシアチブによる業界への追い風的一方、同業他社の統合に対抗するため他社との統合も選択肢となろう。

## What is the news?

4/23発表の2021/12期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比4.8%減の22.28億MYR、その内、通信サービス売上高が同0.5%減の19.59億MYR、純利益が同6.4%減の3.34億MYR。一方で、為替変動や無線周波数帯域割当てに係るライセンス更新の前払費用など特別項目を除く調整後EBITDAは同0.5%増の9.64億MYR。ポストペイド、プリペイドの減収が全体の売上高減少に響いたほか、設備投資増強に伴う減価償却費の増加が最終減益に響いた。その一方、光ファイバー事業およびワイヤレス・ブロードバンド事業の成長が調整後EBITDA増益に貢献した。前四半期比では、調整後EBITDAが2.7%増、調整後純利益が4.7%増と業績改善を示した。

セグメント別の1Q業績は以下の通り。①ホールセールを除くポストペイドサービス事業は、売上高が前年同期比1.4%減の9.74億MYR。契約登録者数が同3.5%増だったが、ARPU(1ユーザー当たり平均収入)の減少が響いた。②プリペイドサービス事業は、売上高が同3.4%減の6.90億MYR。ARPUの減少が響き減収だったが、ポストペイド型のホットリンクサービスへの移行によるSIM統合の継続に伴う契約登録者数の減少に歯止めがかかり、契約登録者数が同3.4%増となった。③光ファイバー事業は、売上高が同17.8%増の1.54億MYR、接続件数が同18.6%増と堅調に伸びた。④ワイヤレス・ブロードバンド事業は、売上高が同55.6%増の4,200万MYR、契約登録者数が同46.8%増と成長拡大を示した。

## How do we view this?

マレーシア政府による新型コロナ対応の移動制限令(MCO)が強化されるなか、先行き不透明感から2021/12通期会社計画を非公表とした。

政府は今年2月、MyDIGITALイニシアチブを開始。「マレーシアをデジタル主導による高所得国、かつリーダー国に進化させる」という政府計画の一環であり、デジタル経済が2025年までに国のGDPに22.6%貢献することと同時に、50万人の雇用を創出することを目的としており、業界への追い風となろう。また、同業のアシアタ・グループの全額出資子会社セルコムと、ノルウェーの同業テレノールが49%を出資するデジ・ドット・コムとの統合が今年6月にも正式合意の見通しであり、一挙に同国の携帯通信最大手となる見通し。5G通信に向けた研究開発資金を確保し、競争で生き残るため、残された同業他社との統合も選択肢となり得よう。

## 業績推移

※参考レート 1MYR=26.41円

事業年度	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12F	2022/12F
売上高(百万MYR)	9,192	9,313	8,966	9,260	9,606
当期利益(百万MYR)	1,779	1,512	1,382	1,447	1,579
EPS(MYR)	0.23	0.19	0.18	0.19	0.20
PER(倍)	20.43	24.74	26.11	25.41	23.38
BPS(MYR)	0.91	0.90	0.90	0.92	0.94
PBR(倍)	5.16	5.22	5.22	5.13	4.99
配当(MYR)	0.20	0.20	0.16	0.18	0.18
配当利回り(%)	4.26	4.26	3.40	3.74	3.89

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(MYR) **0.18** (予想はBloomberg)  
終値(MYR) **4.70** 2021/5/18

## 会社概要

1995年設立のマレーシアの移動通信サービス事業会社。マレーシアの企業や個人にモバイル通信サービスを提供するほか、音声およびデータサービスに係る国内固定回線ネットワーク、および国境を越えた相互接続サービスに係る国際ゲートウェイネットワークを提供する。

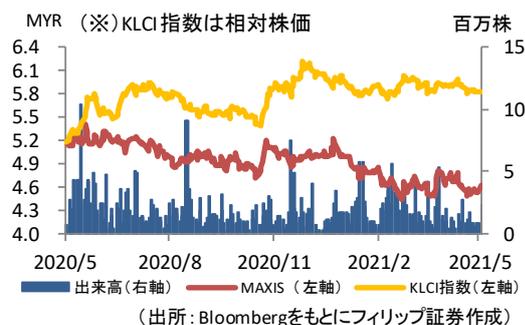
経営権を握る筆頭株主はマレーシア人インド系実業家のアナンド・クリシュナンが率いる企業であり、同氏はマレーシアの衛星放送最大手のアストロも所有している。1999年にプリペイド式の携帯電話サービスである「ホットリンク」の運営を開始したのを契機にモバイル通信サービスを展開。2013年には4G LTEサービスを導入し、同分野では同国のマーケットリーダーになっている。

2021年3月末現在、同社グループの有償登録ユーザー数は976万人に達する。

同社グループは、①後払いのポストペイドサービス事業、②前払いのプリペイドサービス事業、③光ファイバー事業、および④ワイヤレス・ブロードバンド事業から構成される。

## 企業データ(2021/5/19)

ベータ値	0.76
時価総額(百万MYR)	36,769
企業価値=EV(百万MYR)	45,896
3か月平均売買代金(百万MYR)	9.0



## 主要株主(2021/5)

株主	(%)
1. 1. ビリヤンGSM	62.31
2. EMPLOYEES PROVIDENT FUND BOARD	11.99
3. AMANAH SAHAM NASIONAL BHD	10.09

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

## リサーチ部

笹木 和弘  
+81 3 3666 6980  
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

## 【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘  
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。